

中学校社会科（歴史的分野）学習指導案

単元名 縄文文化と弥生文化	内容のまとめり B 近世までの日本とアジア (1) 古代までの日本 (イ) 日本列島における国家の形成
----------------------	---

1 単元目標

- ・ 農耕が人々の生活にもたらした変化や当時の人々の信仰などを資料から読み取ったり、体感したりすることで理解している。
- ・ 農耕開始以前と以後の比較を通してそれぞれの生活の特色をとらえ、適切に表現している。
- ・ 古代の日本について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

2 単元を通して身に付けたい資質・能力

狩猟採集の時代から農耕が広まることで、生活がどのように変化していくのか、土器や当時の道具から生活を想像していく。この単元では横浜市歴史博物館にある資料や道具、実際に作製した縄文土器や作製過程の写真や動画をもとに授業を進めていく。土器や土器作成の写真資料を見たり触れたりすることを通して、当時の人々の生活に注目し、大陸から稲作が伝わる前後の生活の変化の様子を、道具を通して考え、イメージをふくらませたい。

3 実践計画の概要

(1) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。	古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)から(エ)までについて古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	古代の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
縄文時代と弥生時代を大観し、農耕が人々の生活にもたらした変化や当時の人々の生活の様子などを農耕開始以前と以後の生活の特色を資料から読み取り、理解している。	縄文時代と弥生時代を大観し、当時の人々の生活に注目し、大陸から稲作が伝わる前後の生活の変化の様子について想像している。	古代の日本について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究しようとしている。

(2) 単元の指導計画と評価計画 [3時間扱い]

学習活動と内容 (時間数) 3時間	主な資料 (◆) と教師の支援 (◇) など
<p>1 縄文土器ができるまで 本時</p> <p>土器の製作過程について関心をもち、当時の人々の生活様子について想像し、縄文時代について、考えを深める。</p>	<p>◆縄文土器づくりの写真、映像、実物 ◇土器づくりの困難さに気づかせる。</p>
<p>2 弥生土器の登場</p> <p>弥生土器と縄文土器と比較することで、その変化の理由について、大陸とのつながりが背景にある事を理解し、弥生時代について大観する。</p> <p>3 生活の変化</p> <p>吉野ヶ里遺跡などに見られる集落の特徴について資料から読み取り、当時の人々の生活の変化について理解し、古代の暮らしについて大観し、クニや指導者の概念について考えを深める。</p>	<p>◆弥生土器の写真、実物 ◇縄文土器と比較し、何が異なるか気づかせる。 ◇なぜ、このような変化が起きたのか、誰がこのような変化を起こしたのか、について考えさせる。</p> <p>◆吉野ヶ里遺跡のようす、銅鐸・銅鏡 ◇簡素な道具となり、実用的で生産の効率を求めようになったことに気付かせる。 ◇これまで以上に食料の備蓄ができるようになったことで、人々の間に争いや縄張り意識(クニ)が生まれたことについて、考えさせる。 ◇王や指導者といった人々による政の側面について想像させる。</p>

4 本時目標

- 土器づくりの写真や動画、実物から縄文時代の人々の生活の様子について考えを深めている。
- 土器づくりに関心をもち、当時の人々の生活の様子を主体的に追究する。

5 本時展開

主な学習活動と内容	主な資料 (◆) と教師の支援 (◇) など
<p>・縄文時代についての知識について振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想される生徒の反応】 S：縄文土器、木の実の採集、集団生活。男女による役割分担、争いのない平和な時代。</p> </div>	<p>◇縄文時代の内容について振り返りを自由にさせる。グループになって活動させるのも良い。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【発問例】 T：縄文時代はどのような時代だったか。</p> </div>
<p>・土器の作製過程について理解し、当時の様子を想像する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想される生徒の反応】 S：粘土を固める、焼く、乾燥させる。</p> </div>	<p>◆土器作製の実物や過程の写真(資料1)(資料2)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【発問例】 T：土器はどのように作られていたのだろうか。</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想される生徒の反応】 S：時間がかかる、丁寧に作らなければならない。 S：失敗することもある、沢山の過程がある。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【発問例】 T：土器づくりの過程の写真を見て、気が付いたことをまとめよう。</p> </div>

<p>S：ひび割れをなくす工夫がある。</p>	<p>【発問例】 T：土器は人々の生活の中でどのように使われていたのだろうか。</p>
<p>【予想される生徒の反応】 S：煮炊きができるようになる、保存できる。</p>	<p>◇「土器がなかったら」という仮定で考えさせたり、「現代に置き換えると」という比較をしながら考えさせたりすることで、より考えを深めることができる。人々の寿命が延びたのではないか、病気が減ったのではないか、といった当時の縄文時代の人々の生活に思いをはせさせる。</p>
<p>・土器の登場は、人々の生活をどのように変化したのか、考えを深める。</p>	<p>【発問例】 T：土器が使われるようになり、人々の生活はどのように変化したのだろうか。</p>
<p>【予想される生徒の反応】 S：食料を調理することができるようになったので、食の安全が保たれるようになる。 S：食料を保存することができるようになったので、1年を通して食料を確保することができる。</p>	

6 博物館との連携

・「花見山遺跡縄文時代草創期出土品」(資料1)



・実験考古学講座 縄文土器づくり(資料2)

